

第3回伊賀市総合計画審議会 議事概要

開催日時	2026（令和8）年7月17日（金） 14:00～16:30
開催場所	本庁舎 4階 庁議室
出席委員	岩崎 恭彦 （【1号委員】三重大学人文学部） 朴 恵淑 （【1号委員】三重県地球温暖化防止活動推進センター） 成底 正好 （【2号委員】公募委員） 荒井 恵美子（【3号委員】男女共同参画ネットワーク会議） 市川 寛 （【3号委員】伊賀市地域公共交通活性化再生協議会） 来光 美希 （【4号委員】 — ）
欠席委員	オチャンテ 村井 ロサ メルセデス（【1号委員】桃山学院大学人間教育学部）
議事日程	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）令和8年度外部評価について （総合計画施策 No.）（施策の見出し（キーワード）） 2－9 都市政策 2－10 住宅 2－12 防犯・交通安全 3－8 住民自治・市民活動 3－9 多文化共生 4－1 地域経済 4－3 都市拠点 4 閉会 5 その他
議事概要	1 開会 （事務局）：定刻となりましたので、ただいまから、令和8年度第3回伊賀市総合計画審議会を始めさせていただきます。 会議及び議事録公開の確認 （事務局）：会議の公開ですが、「伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により、会議を公開し、会議の傍聴を認めておりますので、報道関係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いいたします。 また、会議録についても公開させていただきますので、ご了解よろしくをお願いいたします。

資料の確認

(事務局)：資料は事前に郵送しております施策評価シートです。

会議成立の確認

(事務局)：会議の成立でございますが、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、伊賀市総合計画審議会条例第6条第2項に基づき会議は成立しております。

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただきます。

2 あいさつ

(事務局)：それでは、会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

<会長>：暑い中ご参集いただきありがとうございます。今日は2日間各グループでご検討いただいたものの取りまとめを実施したいと思います。その後、書面審査をグループごとに取りまとめていただくということでよろしく願います。

(事務局)：ありがとうございました。以降の進行は、会長にお願いいたします。

3 議事

<会長>：第1回、第2回の実施報告を行います。グループごとに評価を固めていただきましたが、こちらを審議会の評価とさせていただきます。

<副会長>：皆さん真摯に論議していただきました。Bグループです。このシートを見ながら、また対面で各担当部署の方のご意見を聞いてということで、評価が難しかったのですが、まず消防・救急からさせていただきました、施策番号1-2からです。振り返ると、なかなかA評価をさせてもらえませんでした。成果の羅列ではなく、めざす姿にどれだけ近づくことができたかをしっかり見ようという議論が終始ありましたので、1-2の消防・救急はB評価です。

評価を通してあった意見は、CHECKとACTIONのずれでした。総合的な部分で内部評価の件、それから、施策や事業に関する具体的なアドバイスも出ましたので明記させていただきました。

続いて、上下水道の方です。上下水道も、予算の中で実施していることはよく分かり、伝わってはきますが、やはりCHECKの際にアウトカムが見えなかった、そのため具体的な課題も見えづかったので、CHECKもACTIONもB評価です。

続いて、3－4 学校教育ですが、たくさんの事業を打ち立てて、そして予算化して、成果を上げていただいているのは分かりますが、このチェックシートから見ると、不十分な記載になっているということでB評価です。こどもたちの学力がなぜ伸びないのかなという具体的なことも含めて議論がございました。

続いて、3－5の生涯学習も同様に「事業を実施しました」というような検証になっていましたので、その後どうだったかということが欲しいというところと、一番議論になったのは、図書館で、昨年度完成し、利用者など数値を挙げていますが、図書館ができたので進捗度が100%で終わりなのかというところで、考えていただきたいという追及もさせていただきました。なので、計画通りという評価はいかがなものかという記載になっています。

続いて、7月7日の実施分ですが、2－2 健康についても、A評価できませんでした。ポイントとなる施策をもっと絞り、エビデンスが欲しいという声をいただきましたので、B評価としました。

続いて2－3 スポーツについて、まちづくりアンケートで満足度も重要度でも非常に低い施策でしたので、対面で話を伺うまでは何も考えてくれないのかと思いましたが、いろいろ話を伺うと、本当に予算が付く付かないに関わらず一生懸命考えてやってくださっている、ではそれを書けばいいのではないですかというやりとりもさせていただき、記載の問題があったかなと思いB評価です。

2－7 廃棄物では、実施した事業を書けばいいと思っているようなシートで、事務局の方へシートを書くレクチャーをきっちりとしてほしいというお願いもさせてもらいました。実施している事業とめざす姿をどうつなげてきたかを、内部評価でもっとして欲しいという評価をさせていただきました。

最後に、4－2 農業・林業はシート2枚で多岐にわたっておりましたので、施策を絞って欲しいということと、100%完了という事業は、何が100%なのかということも不明確なまま終わっていますので、私たち一般市民が見るときに、市の農業・林業がどういうふうに取り組まれているのかを的確に確認したいという意味も込め、B評価としました。

<会長>：Bグループの結果を前回口頭で聞かせていただき、同じような議論をさせていただいたのだなということを思いましたが、今日この評価シートを見て、改めてそのことを強く再確認しました。

Aグループは全体として、(3) 施策の進捗状況については、少なくともB評価以上になっているかなと思います。

市の皆さんには、個々の事務事業について、一生懸命に取り組まされていますし、その効果も確認できるのではないかなというところで、(3)については好意的な評価をつけていただいた一方で、(1)効果検証の適正性や、(2)事務事業改善案の妥当性については、なかなかA評価がついたものがなく、BないしはCという評価になっているかと思います。

事業は着実に実施していただいているものの、めざす姿にどういうふう近づいているのかが、評価シートからは見えにくいということや、KPIを設定している項目で、この数値を上げていくとめざす姿に繋がっていくというロジックがなかなか見えにくいということ、KPIについてすでに達成しているものもありましたので、上方修正をしていただいたらどうかということもあり、効果検証の適正性については、厳しめに評価をいただいたかなと思います。

また、(2)事務事業改善案の妥当性についても、課題の洗い出しであまり具体性が認められないということや、課題については指摘があったとしても、その解決のための改善策について、具体的な検討が見てとれない、ACTION欄に少なくともその記述がないなどもあり、厳しい評価がついたかなと思います。

1-1 防災・危機、3-1 こども、3-2 人権・平和については今お話しした通りですが、3-3 同和について、評価シートでは、具体的な記述が見てとれなかったものの、お話を聞いていると、担当者の方が大変熱心な方で、そういうことを考えになって事業されているのですねということがよく伝わってきて、お話伺えてよかったですねというのが全体の空気だったかなと思います。そういったこともあり、皆さん、3項目すべてにA評価をつけていただきました。今回の中ではかなり特出すべき施策だったかなと思っています。

2日目になると、また同じような傾向が見えてくるのですが、2-11 公共交通については、かなりCHECK欄が詳細に記述をいただいていたところでした。どういう事業を実施して、それについての反省点がどういうところかということについて、かなり詳細な記述をしていただいていたので、全体として、高評価になっています。ただ、ACTION欄についてはざっくりとではなく、具体的な形で改善案提示していただきたかったのですが、全体としてはかなり具体的にご検討をいただいているようなので良い評価がついているかと思います。(1)(2)はB評価が多く(3)もB評価が多いです。

差し支えなければ、各グループのリーダーからご報告させていただいたこの評価を、審議会全体の評価ということにさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

— 異議なし —

委員の皆様に見ていただいてご意見をいただく機会がありますか。

(事務局)：審議会の意見とし、全体を調整して記述しています。各回でいただいた意見は報告書外でまとめ、各部局にお渡しします。

いただいた個別意見について、お名前は伏せますが審議の内容として公開します。

<会長>：意見はすべて公表されるということですね。

<副会長>：私たち委員の方もそれぞれの立場や考えで臨んでいますので、相反する意見があったと思います。その辺はどのような調整がされていますか。

(事務局)：評価に対する評価ですので、審議会としてB評価であればC評価の意見があってもBの評価を報告書に記載します。

<会長>：Aグループ、Bグループそれぞれのリーダーが意見のすり合わせをした際に、この意見で良いかと確認をしていますので、そこでの代表的な意見を記載させていただくようにしたいと思います。個別の評価や所見は会長・副会長に一任していただき、全ての意見は担当課に見ていただき市民に公表することをよろしいでしょうか。

至らぬ点はあると思います、評価の仕方については色々と意見をいただきたいと思います。

では、書面審査の評価をしていただきたいと思います。

— Bグループ会場移動 —

2-9「都市政策」

<会長>：2-9「都市政策」の評価を始めましょう。効果検証の適正性について、B評価が3人、C評価が2人、ではB評価ですね。

<委員>：民間実態との乖離を理由に目標値を変更されていますが、誘導が進まない根本的な要因についても、実情に基づきさらに深掘りしていただけるとより良くなると考えます。

<委員>：メンテナンスを行っていきまるとACTIONに書いてありますが、具体的に全体の数字が見えていません。どれだけの橋が悪くなっていてどれだけ直さなくてはならないのかが分かりません。修正が必要な箇所数は書いてあり

ますが、増えていくと思います。その辺の具体的な記載がありませんでした。

＜会長＞：率は分母の取り方で変わってきます。件数も併せて指標にさせていただきたいのでC評価にしました。

よろしければ、効果検証の適正性はB評価で良いでしょうか。

では（２）事務事業改善案の妥当性については、多くの方がB評価ですので、B評価ですね。

＜委員＞：改善案が本当に良いのか、KPIの部分がしっかりできているのか、成果が分からないので改善案も正しいのか分かりません。

＜委員＞：改善案は示されていますが、どれだけ時間がかかるかなど具体的なことが示されていないのでB評価です。

＜委員＞：市民目線でアンケート結果が出ているのにその点が記載されていません。誰のために何をするかの記載がほしいです。

＜会長＞：同じような理由でB評価を付けました。景観が悪くなったと感じている人がいるわけですので、改善案は維持だけでないはずで、課題の抽出と改善案が結びついていないと思います。

改善案の妥当性はB評価としましょう。

では、（３）施策の進捗状況について、やはりB評価が多いですね。

＜委員＞：道路と河川の指標は0からスタートするので、あと4年での達成は厳しいと思います。100%の達成は無理だと考えているのか、どこかのタイミングで数値が上がるのか、今のところ分からないのでC評価にしました。

＜会長＞：累計値の件数とパーセントと、単年度の目標数値があります。累計値はロードマップを示していただいて、初年度はどこまで進んだのか示していただけるとAやBの評価ができるかもしれません。

＜委員＞：すごくお金のかかることですが、国からどれだけお金を取れる見込みがあるのか、ないなら別の取組があるのか、この文面では分かりません。

＜委員＞：国や県への要望も大事ですし、橋梁の修繕率など一部で遅れをどのように改善していくかが大事です。

＜委員＞：地域性があると思うので、違いを明確にする方が良いと思います。

＜委員＞：成果指標の進展度が100%進んでいるとされていますが、どのように進んでいるのか具体的に分からないので記載してほしいです。

＜会長＞：B評価でよろしいでしょうか。では、2－9「都市政策」は（１）効果検証の適正性がB評価、（２）事務事業改善案の妥当性がB評価、（３）施策の進捗状況がB評価とさせていただきます。

2－10「住宅」

では2－10「住宅」に移りたいと思います。（１）効果検証の適正性について、B評価が4人です。

＜委員＞：空き家バンクの成約数について、さらに一步進んでほしいです。事業者目線に立った要因を記載してほしいです。現状維持の分析に留まってしまうので、もっと踏み込んだ分析をされると移住や起業したい方ももっと増えると思います。そのためC評価とします。

＜委員＞：空き家には、期待値を込めてB評価にしました。

＜委員＞：空き家対策を分かりやすくしてほしいです。空き家登録がされていないと動かせないということになっているので、これからそういうことが増えるのではないのでしょうか。

＜委員＞：効果がどの程度出ているのか読み取れないので具体的に書いていただきたいです。

＜委員＞：登録件数だけでなく、その後の状況も記載してほしいです。

＜会長＞：KPIの数字だけ見ると低いのですが、記載を見ると効果があると分かります。数値が低い理由が記載されるとつながると思いますが、そこが読み取れないのでC評価としました。

＜委員＞：文章で評価するとなると厳しくなります。

＜会長＞：ここはB評価としましょう。では（２）事務事業改善案の妥当性についていかがでしょうか。

＜委員＞：住宅を守るというのは市民も同じ考えですが、行政がどう介入するか、普及啓発をするか、あとはコストの面で、どのように捻出していただけるか、お金が無いと修繕できませんのでそこは大事な点かと思います。

＜委員＞：耐震化について、南海トラフ巨大地震の影響が沿岸部に比べ少ないとは思いますが、補助制度による耐震化戸数が18件は少ないと思います。根拠を知りたいです。

空き家については、頑張っているのは分かりますが目標と実績で桁が違いますので、B評価としました。

＜委員＞：空き家の耐震化の問題について、空き家があると危険ということを周知しないといけません。

＜会長＞：診断まではいきますが工事まではハードルがある、という分析はされていますが、どう対策するか具体的なものはありません。

＜委員＞：伊賀市全体の戸数の中でどのくらい耐震化が進んでいるのかが分からないので、補助制度による耐震化戸数18件が正当なのか分かりません。空き家も進捗していないと読み取れますので具体的な記載が必要だと思います。

＜委員＞：がんばってはいると思いましたのでA評価にしました。

＜会長＞：耐震化についても、エリアを特定するのか、危険度を測るのか、一般的な呼びかけでは浸透しないので呼びかけに関する分析がないのでB評価とします。

では、（３）基本事業の進捗状況についてお伺いします。

＜委員＞：空き家が目標に比べてまだ遠いので、どう取り組むのかが分からないのでC評価としました。

＜委員＞：原因をしっかりと考えて取り組まないといけないと思います。最近では空き家対策が進まず、税金を高く取ろうとする自治体もあるので、そうなる前に効果検証をすることが大事だと思います。

＜委員＞：課題が多すぎると思いました。市民の相談体制をしっかりといただき

たいと思います。

＜委員＞：進捗がこのままでいいのかと思いますので、具体的な対策を立てて目標を立てた方が良いと思います。

＜委員＞：空き家問題はコントロールしづらい数値だと思います。他の施策よりは前に進んでいると思いますのでA評価とします。

＜会長＞：割れていますので、今の意見交換を踏まえて評価し直し、C評価としましょう。ここは、KPIが高すぎるのか、このまま続けていても達成するとは思えないので。

確認します。（１）効果検証の適正性がB評価、（２）事務事業改善案の妥当性がB評価、（３）施策の進捗がC評価としてまとめさせていただきます。

2-12「防犯・交通安全」

続いて、2-12「防犯・交通安全」についてご意見いただきたいと思っています。B評価が5人で、ここはB評価で決まりかと思っています。

＜委員＞：基本事業①「防犯・消費者保護」のKPIはA評価でも良いくらい進んでいますが、基本事業②「交通安全」がまだ達成していないのでB評価とします。

＜委員＞：特殊詐欺などニュースで聞きますので、その辺が実感できる指標作りが必要かと思っています。

＜会長＞：刑法犯認知件数というと色々な犯罪が含まれてくるのですが、今重点を置かないといけないところがこの指標だけだと分からないということですね。

＜委員＞：通学路の防犯対策も必要です。また、自転車のルールが改定されましたが、見直しが必要だと思います。道路を走るのは危ないと思います。

カーブミラーが見にくいので改善してほしいですし、学校でもミラーを確認するよう啓発する必要があるかと思っています。

空き家についても防犯上よくないので、若い世代の活用につなげるなど何か対策してほしいです。

＜委員＞：犯罪の認知件数は増えていますが、こういったもののなのかが書かれてい

	ません。特殊詐欺の記載もありますが、それが増えているのかも分かりませんし、具体的に書いていただくと検証するうえで分かりやすいと思いました。 ＜委員＞：思っていたより色々な取り組みがあると分かったのでA評価としました。 ＜会長＞：刑法犯や人身事故が少ないというのは、最終的に目指すところでは良いのですが、そこに向けてどういう犯罪にどうアプローチするのか、特殊詐欺件数や自動車交通安全の施策の進捗が分かる指標を設定していただきたいということでB評価とします。 続いて、事務事業改善案の妥当性ですが、A評価の方もB評価の方もおられますので、バランスをとってB評価とさせていただきます。 ＜委員＞：A評価でもいいのですが、更に頑張ってもらいたいという期待値を込めてB評価です。 ＜委員＞：広報活動について、どのように周知を図るか具体的なことが分からないということと、大型車両がコンビニの横で休憩していることがあります、しっかりと広報活動をして細かい部分まで行き届くと良いと思いました。 ＜委員＞：ACTION が分かりづらいと思いました。高齢化しているので、具体的な防犯の啓発について取り組んでほしいです。 ＜委員＞：ACTION ですが、啓発活動の強化を図るや周知を図るとありますが、誰に対してどういうことをするのかの具体的なことが書かれていません、また、新たな課題への対策として、交通ルールが変わったのであれば自転車の走行帯を作ることや、ヘルメット着用の義務があるなら助成金で買い与えるなど取り組めることがあると思います。 ＜会長＞：具体性が欠けているのでC評価にしました。80%埋めないとやり直しというふうにしたらどうでしょうか。あまりにも具体性に欠ける記述を時々見かけるので、やり直しの基準を設けても良いと思います。 （３）施策の進捗状況はみなさんB評価ですね。 防犯・交通安全は基本のことをやっていただくことになりますが、道路交通法が改正されましたので、自転車交通安全の指導を行っていただ
--	--

くことや、他市でも特殊詐欺対策について力を入れているとも聞きますので、市として力を入れているとメッセージとして発信していただいたり、当たり前のことを当たり前に行っていていただくことと加えて取り組んでいただくことをもう少し見せてほしいということでB評価とします。

(1) 効果検証の適正性がB評価、(2) 事務事業改善案の妥当性がB評価、(3) 施策の進捗状況がB評価とさせていただきます。

3-8 「住民自治・市民活動」

続いて、3-8「住民自治・市民活動」について、A評価が2人、B評価が3人、どちらかというと好意的に付けていただきました。

＜委員＞：住民自治協議会といえば伊賀というイメージがあります。数字を見ても目標を達成しているのでA評価とします。

＜委員＞：課題に対して現場の声を反映しているのでA評価としました。

＜委員＞：取り組みが活かされているかが分からないので、効果が具体的に分かれればいいと思いました。

＜委員＞：検証しているので効果が知りたいのと、新しい課題はもう少しなかったのかと疑問に思いますので書いてほしいです。

＜委員＞：新たな担い手が増えているかも確認していただきたいです。

＜会長＞：あり方検討をしているので課題がないわけではないと思います。B評価とします。

(2) 事務事業改善案の妥当性については、C評価が多いです。

＜委員＞：いつまでにどのようなサポート体制にするか、年度ごとのロードマップを示していくべきだと思います。

＜委員＞：住民自治協議会は、どうして伊賀でそれほど出来るのか、背景や強み弱みからどう取り組むかが見えると良いと思いました。

＜委員＞：外国の方と共存し、自治会や自治協への参加の情報発信が必要だと思います。

＜委員＞：どう広げていくか、どう接していくか具体的に書いてほしいと思います。

＜委員＞：市民活動の指標が参加人数になっていますが、活動を始めたとしても、共有がされないなどして、年度末には８割・９割参加者がいなくなっているということを聞くので、支援を指標にしてほしいと思います。Ｂ評価にしました。

＜会長＞：ここはＢ評価にしましょうか。あり方検討の答申を踏まえて見直しを進めるとありますが、見直しについて外部有識者に任せきりにしすぎではないかと思いますので、長い目を見てどう取り組むかも大事ですが、外国人の方が増えていることに対してどう取り組むかなど、身近なことについては担当課として方策を提示してほしいと思います。

続いて、（３）施策の進捗状況について、Ｃ評価が２人いるものの、ここはＢ評価にしましょう。

＜委員＞：基本事業の進捗で「やや遅れている」とありましたので、スピード感を持って対処していないのかなと考えられましたのでＣ評価としました。

提案ですが、施設管理に留まっていると感じるので、めざす姿が「地域の活力を維持し、自主自立した魅力づくりを進めます」とあるのであれば、地域経済と連動したビジネスはどのようなになっているかを指標にしてほしいと思います。

＜会長＞：住民自治協議会についてはトップランナーであると思う一方で、市民活動の支援についてはあまり聞かないと思いますので、市民活動も頑張っていたきたいと思いＣ評価としました。

環境保全の市民団体が解散したという話も聞きましたので、長い目で見て様々な市民活動を支援するという部分が少ないのかと主ます。住民自治協議会があるからということもあるかもしれませんが。

ご意見はあるものの、Ｂ評価としましょうか。

＜委員＞：地域のボラインティアの担い手がおらず、県や市に相談しても自治協があるからということで協力を上げないことがあります。

＜委員＞：市民センターを活用できていないと思います。防災訓練等もありますし、学校と自治協と施設の横のつながりが大切です。ただ、高齢化で担い手不足になっているので、ここに対処どう取り組むかが課題です。

＜会長＞：住民自治協議会に関しては活発な活動をされていて市としても支援され

ているということでB評価を付けていただいたと思いますので、ここはB評価とします。

確認します。3－8「住民自治・市民活動」については、（１）効果検証の適正性がB評価、（２）事務事業改善案の妥当性がB評価、（３）施策の進捗状況がB評価とさせていただきます。

3－9「多文化共生」

では続いて、3－9「多文化共生」の（１）効果検証の適正性について、全体としてはB評価ですね。

<委員>：外国人と地域の方々との双方向のコミュニケーションが大事ですが、そこが弱いと感じましたのでC評価としました

<会長>：指標は外国人住民を対象に取っているとは思いますが、受け入れ側の地域や日本人の方に課題があると分析されています。その課題を測るための指標を設定していないのでC評価としました。

<委員>：多文化共生の取組は実施されていますが、意識の変化が見られないのでB評価としました。

<委員>：外国人に対して聞いていますが、受け入れ側の確認ができていないので、立場を変えて検証する必要があると思い、B評価としました。

<会長>：ここはB評価としましょう。

では、（２）事務事業改善案の妥当性についてお聞きします。

<委員>：見直しが必要だと思いましたが、よく進んでいると思いましたのでB評価としました。

<委員>：外国人住民のニーズを把握できているのか疑問に思ったのと、具体的な取組内容を明確にさせていただいた方が良いかと思い、B評価としました。

<委員>：日本人に向けての改善案があってもいいかと思いました。

<委員>：交流は片方だけ何かすることではないので双方で取り組みがあればいいかと思いました。

＜会長＞：伊賀市は外国人住民が多いので、外国人住民にも日本人や地域にも働きかける取組をしていただきたいということでB評価とします

（３）施策の進捗状況について、成果指標の進展度も基本事業の進捗も「△」なので、A評価やB評価は付きにくいと思います。

もっとダイバーシティについて取り組んでいただくということでB評価とします。

（１）効果検証の適正性がB評価、（２）事務事業改善案の妥当性がB評価、こちらは、日本人や地域について働きかけを強めてほしいということでB評価とします。（３）成果指標の進展度がB評価とさせていただきます。

4－1「地域経済」

続いて、4－1「地域経済」の（１）効果検証の適正性について、お伺いします。

＜委員＞：産業振興のアクションプランを策定して取り組まれていると思いますが、いつまで何をするかが分からないので、明確にいただいた方が良いと思いB評価としました。

＜委員＞：取組自体はしていただけていますが、その後のサポートが届いていない部分もあるかと思いB評価としました。

＜委員＞：効果が地域経済に結びついているかが分からないので、もう少し具体的な記載が必要と思いました。

＜委員＞：アクションプランの策定に関して、今後の方向性に関する洗い出しに着手したと書かれていますが、スケジュールをどのように設定しているかが書かれていけませんのでどう評価すれば分かりません。

＜委員＞：伊賀ならではのモデルを盛り込んでいるだろうと、期待を込めてB評価とします。

＜会長＞：他の施策は個々の具体的な事務事業と、それを束ねる基本事業という形になっているので、どういう事業をして、それがめざす姿にどう近づいているかという点で評価しやすいのですが、ここではプランを作ることや条例を作ることなどが施策になっているので、外部評価になじみにくい施策だと思いますのでC評価としました。全体としてはB評価とします。

(2) 事務事業改善案の妥当性についてお聞きします。

＜委員＞：基本事業の進捗が「やや遅れている」というのはなぜでしょうか。

＜会長＞：アクションプランを策定することになっていますが、計画年度が後ろ倒しになっているということだと思います。条例も、もともとは令和8年度末を予定していましたが、有識者の意見を聞いたうえで策定するというふうの方針転換をしましたので、タイミングをずらしましたが、時期がずれば進捗が進んでいないことになるので、どう評価すればいいのでしょうか。

＜委員＞：目標だけ掲げるのではなく、他部局と連携して具体的にどういうことに紐づいて取り組まなくてはならないか決めていると思いますが、そこが指標に入っていないので、この文章だけでは分かりません。

＜会長＞：事業が紐づいていなくても他部局とどう連携するかや、多様な主体の意見をどう意見聴取し、条例に反映するか、プロセスをACTIONにかけると思いますが、書かれていないということでB評価とします。

「4. にぎわいをつくる」の分野全体を見ないと4-1地域経済を評価できないと思いますので、他の施策にまたがったりするものの評価の仕方は次回の課題としていただきたいと思います。

(3) 施策の進捗状況について、C評価としましょう。市の内部評価で「×」が付いているものにA評価やB評価はつかないと思います。

4-3 「都市拠点」

続いて、4-3「都市拠点」の(1)効果検証の適正性についてお聞きします。

＜委員＞：進捗状況を見ていると順調に進むかと思いますのでB評価としました。

＜委員＞：事業の効果や利用者の満足度は具体的に示す必要があると思いましたのでB評価としました。

＜委員＞：市民が実際に感じられる効果が見えないと思いましたのでB評価としました。

＜委員＞：しっかりと分析されていると思いますのでA評価です。意識調査結果があると、ギャップをどうするかが分かってなお良いと思います。

＜会長＞：B評価としましょうか。行政施策の進捗度だけではなく、市民が都市の集積拠点づくりどのくらい満足しているのかや、市外の人だけでなく市の人も集いたいと思える都市拠点づくりになっているかについても指標が必要だという意見がありました。

（２）事務事業改善案の妥当性についてお聞きします。

＜委員＞：持続可能なまちづくりの拠点が必要ということに関して、改善しながら取り組むことと思いますのでB評価としました。

＜委員＞：具体的なアクションの観点で見ると、点だけではなく面の部分でも強化が必要だと考えB評価としました。

＜委員＞：市民や関係団体の意見を取り入れて、具体的な施策を取組めたら良いと思いました。

中心を活性化するような取組が欲しいなと思います。

＜委員＞：地域や事業所など、いろんなひとの意見を取り入れる機会を作ってから取り組みを進めてほしいと思います。

＜会長＞：ACTION 欄だけ個別事業をクローズアップしていると感じました。たくさん事業について書かれると思いますが、白鳳プラザやふれあいプラザ跡地の利活用のことですとか、このことが中心にはなるとは思いますが、これだけではないと思います。改善案も包括的に考えてほしいということでB評価とします

（３）施策の進捗については全員B評価です。

（１）効果検証の適正性がB評価、（２）事務事業改善案の妥当性がB評価、（３）施策の進捗がB評価とします。

4 閉会

＜会長＞：まとめということで、今回初めての形での外部評価だったので、反省点や改善点として次回へ生かしていきたいと思います。事務局に集約していただき、今回感じていただいたことを、報告書の最後の「おわりに」に記載させていただきたいと思います。列挙するのかまとめるのかは恐縮ですが、会長・副会長にらせていただくということでご理解をいただきたいと思います。

3日間、長時間にわたり、ありがとうございました。一通りの評価が

でき、充実した議論ができたのかなと考えています。より良い報告書にまとめてまいりたいと思います。

完成版をご覧いただいて次回につながるご意見もいただければと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

事務局に進行をお返しします。

(事務局)：長時間にわたりましてご協力をいただきありがとうございました。延べ3日間にわたり、今年度は初の試みの手法で実施させていただきましたが、会長・副会長から、反省するところもご指摘をいただいているところでございますので、事務局でも再度検証いたしまして、よりよい評価方法を検討させていただきます。最後に、未来政策部長の方から皆さんに挨拶をさせていただきます。

(未来政策部長)：ご審議ありがとうございました。少し振り返りを込めてお礼とさせていただきますと思います。令和6年8月5日に第1回の審議会を開催させていただいて以来、約2年間にわたりまして、13回の審議会を開催させていただきました。お忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。とりわけ岩崎会長には、第1回の会議のご就任の際に、第3次総合計画を作っていくところから始まっています。当時、自治基本条例改正をしております、その中で、この総合計画を市の最上位計画として自治基本条例の中に位置付けた初めて計画になるということ、伊賀市にとって重要な計画であるということを再認識させていただきました。

そのあとも会議の運営や、論点の整理など、大変ご尽力いただきまして、昨年の8月7日には市長の方に、第3次総合計画の答申をいただきまして、ここで深く感謝させていただきたいと思います。

加納副会長様にも専門的な立場からのご助言とともに、会長をお支えいただき、審議の方向性なども整えていただきましたことについて厚くお礼申し上げます。第3次計画の策定期間中には市長交代という大きな転換点ございましたが、委員皆様のお力によりまして、昨年の9月定例議会の方で議決をいただいて、第3次総合計画が成立しました。

さらに今回は、新たな外部手法の取組ということで、審議会のご意見もいただきながら、担当課の意見も直接聞きたいという昨年の審議会でのご意見も踏まえまして、今年度、当時の思

いがそのままにさせていただけたかどうかは疑問点もあったかと思いますが、担当課も入れて、できる限りの外部評価の手法ということでさせていただいたところです。

今後の進行管理に向けて、貴重なご意見をいただいた場となったのかなと思っておりますので、総合計画全体の進行管理、PDCAをまわしていく中で、過去の審議会のご意見も踏まえて、今までも積み重ねてきておりますが、今回いただいた新たなご意見も踏まえ、総合計画進行について、今後も改善を重ねながら取り組んでいかないといけないと思っています。

もう1つ、伊賀市の総合計画は、市長の任期の4年間に合わせた計画となっており、今回策定いただいた第3次計画が令和7年度から開始ということで、今年度末で2経過したということになります。そうしますと、来年度から次の計画の策定準備を始めるとということで、着手していきたいと思っておりますので、今後、それぞれの立場の方から、本市や総合計画に関心をお寄せいただきまして、またご意見等賜ればありがたいなと思っております。

最後になりますけども、岩崎会長様、加納副会長様はじめ皆様に、これまでご尽力いただきましたことを重ねて御礼を申し上げまして、皆様とのご健勝とご多幸、ますますのご活躍を祈念させていただきまして、最後になりましたが、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

5 その他

(事務局)：それでは以上をもちまして、第3回審議会を終了させていただきます。

最後に、事務局から事務連絡がございます。

本日は長時間にわたりましてどうもありがとうございました。